

02

10分で読める
モバイル講演録



Kaeko Hino

mobile
lecture text

本人
音声付

主婦の力で社会を変える

日野佳恵子

はじめに

あなたは人の話を聞く機会がありますか？

家族、職場、友人など限られた人間関係の中で生きて、彼らと同じ価値観から抜け出せずにいるのではないのでしょうか。

主婦の力で社会を変える／日野佳恵子

【本人音声付】10分で読めるモバイル講演録第2巻

人の話を聞くことは、あなたの価値観を変えていきます。

価値観を変えることは、あなたの人生を変えていくということです。

同じ毎日の繰り返し、将来への不安、何となくやりきれない倦怠感。

すべてはあなたの「価値観」が生み出しています。

しかし、「人の話を聞く」といわれても、すぐにそれを実行できる人は多くありません。

気軽に講演会に足を運べるようになった昨今でも、「忙しくて講演を聴く時間なんてない」「行ってみただけど、時間のムダだった」という声もよく聞かれます。

そんな忙しいあなたに贈るのが「10分で読めるモバイル講演録」です。

「10分で読めるモバイル講演録」では、移動時間や待ち時間などの10分間で、著名人の講演のポイントを電子書籍で確認可能。もし、その内容に「価値がある」と判断すれば、実際の講演やインタビュー(約1時間分)を音声でじっくりと楽しむことができます。

セミナーに行くための時間や費用は不要。

その上、ポイントはすでに書籍となっているため、内容をメモする必要もなく、集中して講演を聴くことができます。

また、本講演は加藤登紀子、鳥越俊太郎、渡邊美樹ら著名人1000人以上のインタビュー経験を持つ、プロインタビュアー・早川洋平がナビゲートすることでテレビなどでは聞けない著名人たちの本音を聴くことができます。

目次

はじめに

第1章 創業の原点

第2章 箱入り娘からの独立

第3章 神様が授けた命

第4章 マーケティングから見抜く本質

今回のゲストは、株式会社ハー・ストーリー代表取締役・日野佳恵子さんです。

カトリックの女子寮で生活した箱入り娘の学生時代。

恵まれた環境を飛び出して、さまよった夜の街。

2度にわたる大病、親からの勘当、「子どもはできない」という医師からの宣告。

「男のように働こう」という決意から、起業、現代の男女観、マーケティング理論まで彼女が人生で培った価値観や信念を余すところなくお届けしたいと思います。

日野佳恵子(ひのかえこ)

島根県生まれ。

広島市でタウン誌の編集長、広告代理店プランナーを経て、1990年に、さとうみどり(現・ハーストリープラス 代表取締役)と2人で創業。女性マーケティングのパイオニア企業として注目を集める。

全国に女性を中心とした10万人のネットワークを持ち、女性マーケティングの成功は、『関わりと巻き込み』にある、という持論の元、企業・女性との3者共働型で実践する「クチコミュニティ・マーケティング」を開発。

創業から20年目を迎えた2010年SNS「暮らしの根っこ」を立ち上げ。時代の変化に対応した女性マーケティング事業を目指し、これからのライフワークとして取り組んでいる。

「女性」をキーワードにした講演・執筆・取材依頼は年間100本を超える。

第1章 創業の原点

早川 本日のゲストは、株式会社ハー・ストーリー代表取締役の日野佳恵子さんです。

麻布十番のワインバー「喃喃」にて、お話をうかがいたいと思います。とても素敵なバーですね。

日野 お昼は会議室として利用しています。女性マーケティングという職業柄、「会議室にキッチンを置きたいね」というアイデアが出ました。そうしたら、あるメーカーがキッチンをプレゼントして下さり、会議室兼ショールームとなりました。その後、せっかく飲み屋も多い土地なので、夕方からワインバーを営業することにしました。

早川 会議室が先だったんですね。「女性マーケティング」というキーワードが出ましたが、これについて詳しく聞かせてもらえますか。

日野 メイン事業の一つは、20〜60代の既婚女性を中心に登録してもらおう「暮らしの根っこ」というウェブサイトです。これは、企業が消費者と対話するためのインターネット上の会議室で、みんなの意見を集めて社会をより良くしよう、という思いを込めて「暮らしの根っこ」と名付けました。消費者と企業、ハー・ストーリーは「暮らしの根っこ」内で新製品やアイデアについて議論します。親しくなると、インターネットを飛び出して、オフラインでのやり取りが生まれます。

また企業がアンケートを取りたい場合、住所や年齢など選別された登録者に一斉にアンケートのお知らせができます。これはほぼセルフサービスで、企業は自分たちでアンケートを作成し、指定した属性の人たちを選べます。回答はウェブ上にアップされて、ダウンロードできる仕組みです。

セルフサービスといっても、アンケートの作成方法や操作がわからない企業に対してはオペレーターがサポートします。私たちは「主婦の声をダイレクトに届ける」ツールを提供している会社なのです。

インターネット上には何百万人もの方がいますが、「暮らしの根っこ」の会員の最大の強みは「回答しよう」という意識の高さです。一般的な主婦は、ウェブ上でもハンドルネームを使用したり、SNSでも素性を明かしたがりません。そのような主婦たちの声を拾い上げ、データベースとして蓄積しながらも、企業の機密情報は守る。

企業は「暮らしの根っこ」での出会いから、主婦たちと直接対話したり、イベントに登場してもらったり、ブログに記事を書いてもらったり、サンプルを試してもらったりなど、あらゆる活動につなげていきます。主婦の声を企業に届けて、社会をより良くする商品を開発してもらおう。この考え方を私たちは、クチコミユニティ・マーケティングと呼んでいます。

早川 企業と主婦間の濃いコミュニティをキープするために、心がけていることはありますか。

日野 私は濃い関係作りの法則を研究するのが好きです。例えば、同じ高校の出身者同士だと話が弾みますよね。人間は、共通性があったり、過ごした時間が長かったりするとコミュニケーションが活発になる傾向があります。他人よりも知人、知人よりも友人、友人よりも親友、親友よりも家族。このような法則があるのです。

これをネット上でも意識する。たとえば、ダイレクトメールも週に1回必ず配信し、内容も読者に響くような読み物にする。直接でもネット上でも、対話は人間が主体で心理的には同じということを会員さんには伝えていきます。

早川 ハー・ストーリーも創業20年ですね。

日野 正確には、1990年創業なので22年が経ちます。創業時にアドバイスをもたらった女性経営者たちも7年目とか12年目で、当時は驚いていましたが、それも超えてしまいました。

創業時はインターネットもなく、すべての原点はママ友でした。ママ友たちの「あそこのケーキ屋おいしくないね」などのおしゃべりは広告よりもずっと影響力があります。それまで広告代理店やタウン雑誌の編集者としてキャリアを積んできた私は、この口コミの影響力に興味を持ち、女性を集めたチラシ団体を作ろうと思いました。

早川 アナログ時代から口コミの重要性を体感していたからこそ、濃いコミュニティを作れるのですね。

日野 そうだと思えます。インターネットはあくまで、つながるための道具です。たとえば、フェイスブックでも知らない人から友達申請されたら承認するか迷いますよね。

私たちはインターネット上でも、直接会ったことがあるかのような濃い関係性を作りたい。それを基本としています。

サンプル版はここまでです。続きは、アマゾンにてダウンロードしてお楽しみ下さい。

「主婦の力で社会を変える／日野佳恵子【本人音声付】10分で読めるモバイル講演録第2巻」

http://j.mp/1Omobile_hino_02

インタビュー・プロフィール

早川洋平／はやかわ・ようへい
横浜生まれ。

中国新聞記者等を経てプロインタビュアーに。2008年には、インタビュー形式のインタートラジオ（ポッドキャスト）番組「キクマガ」をスタート。加藤登紀子、鳥越俊太郎、渡邊美樹、茂木健一郎、石田衣良ら、130人以上のゲストが出演、年間150万ダウンロードを超える番組となっている。10、11年、横浜美術館「ラジオ美術館」、13年ユニクロCM「ステテコ&リラコ 風と暮らす篇」インタビュアー。

企業・機関・個人のメディアを創出するプロデューサーとしても活動。中核となるポッドキャスト配信サービスは、美術館、大学、病院、出版社、ラジオ局、ジャーナリスト、作家など、広く活用されている。「横浜美術館『ラジオ美術館』」「多摩大チャンネル」「鳥越俊太郎のニュースの職人チャンネル」「本田健の人生相談」「伊藤忠商事『THE 商社マン』」などプロデュース番組多数。

発行日 2013年4月31日第1版

著者 日野 佳恵子

発行者 早川 洋平

執筆協力 三村 真佑美

制作 Textrage 編集部

〒244-0804

横浜市戸塚区前田町 516-1-B-110

MAIL : tr-inquiry@kiqtas.jp

URL : <http://kiqtas.jp/>

Copyright (C) 2013 KIQTAS All Rights Reserved.

本作品の内容を無断で複製・複写・放送・データ配信などすることは、固くお断りいたします。